

第19回 浦添市まちづくりプラン賞（報告）



（あじさい公園チョウハウス）



（シュロチクに休む蝶）

「小湾川にオオゴマダラを翔ばそう」

令和2年4月18日

大平自治会

事業実績報告書

1 事業の名称	オオゴマダラの食草及び蜜源の配布・植栽事業
2 団体名	大平自治会
3 団体の代表者	自治会長 佐久川正健
4 事業実施期間	令和元年9月19日～令和2年2月15日
5 事業目的	第18回まちづくりプラン賞(大成ホーム賞)を継続し、蝶の舞う浦添市にする環境作りを行う。
6 事業内容 事業の参加人数、実施場所、内容、実施体制、事業経過などの実績をできるだけ具体的に記載してください。	・参加人数 215名(658時間) ・実施場所 市内の小学校(4)、中学校(3)、幼稚園(2)、保育園(1)、浦添市役所、カルチャーパーク、あじさい公園及びてだこチョウハウス前、パークフェスタ事業参加 ・実施内容 上記の場所での食草及び蜜源の配布、植栽を行った。 ・実施体制 大平自治会の有志と事業実施に賛同した上記関係者で実施した。 ・事業経過 9月19日～12月11日 資材、食草及び蜜源、園芸物品の購入。 10月1日～10月18日 学校、自治会等へ本事業への参加を電話および訪問して打診した。 10月11日～10月15日 種苗室作成。 10月16日～令和2年2月15日 食草、蜜源の配布及び植栽を実施した。
7 事業の成果又は効果	・学校、市役所構内、公園及び一般市民を対象に事業が実施でき、本事業目的を周知できました。 ・小学校、幼稚園、保育園から幼虫(オオゴマダラ)の提供依頼があり、子供の情操教育に寄与していることを実感できた。 ・チョウハウスを訪れる市民の人数が多くなり、蝶への関心の高まりを感じた。

8 事業目的の達成に向けた課題と今後の対応策	・本事業の実施は一年を通しての活動が必要だと感じますので、実施期間の見直しを願いたい。 ・市内事業所への本事業周知ができなかったので、次年度に向けた取り組みを検討したい。
9 今後の取り組みに向けた展望	・カルチャーパーク内の「てだこチョウハウス」が市の予算で改築することになりました。規模、内容が充実して、本事業の推進役になることを望みたい。 ・オオゴマダラが沖縄県の県蝶に決定したとのマスコミ報道もあり、浦添市のみならず沖縄県全域が蝶の舞う島になるよう隣接する市町村の関係者と協議してみたい。

活動写真説明

1. (主要資材関係)



(支柱パイプ)



(支柱パイプ メッシュ運搬)



(ホウライカガミ苗木)



(ペンタス草花苗)

2. (作業状況)



(種苗小屋完成)



(カルチャーパークメッシュ仕立て)



(牧港小学校 メッシュ仕立て)



(沢岬小学校 メッシュ仕立て)



(港川中学校 メッシュ仕立て)



(港川小学校 フェンス仕立て)



(市役所 メッシュ仕立て)



(神森中学校 フェンス仕立て)



(あじさい公園 ペンタス花園作り)



(ペンタス植栽完了)

3. (沢岬小学校放蝶セレモニー)

4. (うらそえパークフェスタ)



(沢岬小 放蝶の様子)



(オープニングセレモニー放蝶の様子)